





天皇陛下御即位二十年  
 天皇后陛下御大婚五十周年  
 奉祝

本年は、かかるとめでたき慶事に恵まれ、天皇陛下におかれましては、昭和三十四年四月十日の御大婚よりお健やかに五十周年をお迎えになりました。謹んで心からお祝いとお慶びを申し上げます。

天皇陛下には国民統合の象徴として、ご多端なご公務を担われ、国内外のご巡幸は基より、世界の平和と国民の平安を祈り続けてこられました。

十月二十五日、天皇陛下御即位二十年奉祝神奈川県民の集いが横浜のパシフィコ横浜で開催され、奉祝記念式典が盛大に行なわれました。

式典に続き「皇室を戴く国柄について」と題しアサヒビール(株)名誉顧問中條高德氏の記念講演会と、さだまさし氏のトーク&ライブがあり、心に響くお二人のお話に感集した人々は感動し、会場は終始華やかな雰囲気



記 念 植 樹

黒松と 椰

当社では、天皇陛下御即位二十年を奉祝申し上げ、記念の植樹を行い「黒松」と「椰」の木を一本づつ参道に植えました。

松は日本を代表する木であり寿命が長く冬の寒さにも耐え常に緑を保つことから長寿の表象と仰がれております。

椰は古来この葉に神霊が宿るとされ、これを守り袋に秘めて災難除にするなど縁起のよい木として崇められております。

この度は謂れのあるこの二本の木を記念植樹し、皇室国家の弥栄と氏子崇敬者の守護をお祈り致します。



気に包まれお祝いムード一色でした。閉会後には、ブラスバンドの行進や神輿渡御、奉祝の提灯行列が繰り広げられました。この式典に当社からは、宮司以下二十数名の神職・巫女・職員が参加しお祝い申し上げます。

# 天皇陛下御即位二十周年に寄せて

慶應義塾大学講師 竹田恒泰

畏れ多くも天皇陛下には十一月十二日に御即位満二十年の佳節をお迎えになりました。誠に慶賀に堪えないことでございます。十月六日に行われた相模中央氏子総代会で「皇室の弥栄」と題した記念講演をさせていただきました。奉祝国民祭典の直前に、寒川神社関係者の皆様と一緒に祝いさせていただいたことを嬉しく思います。

記念講演の後に利根康教宮司のご案内により、新しく造営された神嶽山神社を拝見いたしました。お庭は何百年も前からそこにあつたかのように見受けられ、とても今年完成した新しいお庭とは思えず、その素晴らしさに感動しました。

また、その折に資料館も見学させて頂き、私の曾祖母に当たる明治天皇皇女・竹田宮恒久王妃昌子内親王が寒川神社を参拝した際に使われた漆塗りの角盥や湯つぎ等が展示されているのを拝見しました。それらには内廷皇族のみが使用を許される表八重菊花紋があらえられていましたので、内親王が



## 竹田恒泰氏プロフィール

作家。慶應義塾大学講師（憲法学）。昭和50年、旧皇族・竹田家に生まれる。明治天皇の玄孫にあたる。慶應義塾大学法学部卒業。憲法学・史学の研究に従事。平成18年に著書『語られなかった皇族たちの真実』（小学館）で山本七平賞を受賞。その他著書に『皇室へのソボクなギモン』（扶桑社、共著）、『旧皇族が語る天皇の日本史』（PHP新書）、『皇統保守』（PHP）、『エコマインド～環境の教科書』（ベストブック）、『怨霊になった天皇』（小学館）などがある。平成21年10月、アバグループ第二回目「真の近現代史観」懸賞論文で最優秀藤誠志賞を受賞。

らお宮に下賜されたものではないかと拝察致します。遠い昔に曾祖母が参拝したことを思い、寒川神社との深い御縁を感じた次第であります。

さて、平成十六年の歌会始のお題が「幸」で、天皇陛下は「人々の幸福ひつつこの内めぐりきたりて十五年経つ」という御製を御詠みになりました。二万七千首もの国民からの詠進歌のほとんどは「幸」を「自分の幸せ」の意味で使用していたそうですが、両陛下は「幸」という言葉で「国民の幸せ」という意味でお使いになりました。

天皇の幸せとは、すなわち国民の幸せであり、日本国民は両陛下の無限の愛に包まれているのです。日本の国柄は天皇と国民の絆に見ることができます。ですから、天皇陛下が御存在あそばすだけで、国土・人心・文化・習俗・言語などを包括した日本そのものが一つに統合され、次の世代に継承されていくのです。寒川神社関係者の皆様方には、御即位二十年に当たり、天皇を仰ぐ日本国の尊さを噛み締めて頂ければと願っております。



常宮・周宮両内親王殿下御参拝  
角盥（ツノタライ）・湯差し

明治34年(1901)

寒川神社蔵

明治34年4月1日寒川神社御参拝時、手水に使用された角盥。

明治天皇第六皇女 常宮(つねのみや)昌子内親王(竹田宮妃)  
明治天皇第七皇女 周宮(かねのみや)房子内親王(北白川宮妃)

# 今月の祭事

## 煤拂祭

十二月十四日(月)

一年間の塵や埃を拂い清め、新年を迎える師走恒例の行事が行われます。

御神前にて奉告祭が執行された後、御本殿を始め神門・手水舎等すべての建物が拂われます。



## 天長祭

十二月二十三日(水)

天皇陛下のお誕生日をお祝いする天長祭が斎行されます。

当日は役員・総代を始め多くの方々が参列し、天皇陛下のご長寿また皇室の弥栄が祈念されます

## 師走大被式並除夜祭

十二月三十一日(木)

一年の最後の祭典、師走の大被式並びに除夜祭が執行行われます

半年間の罪穢れを人形に託し被いやる大被神事が境内にて行われ、ご参列者また全国より郵送で送られた人形が被い清められます。

尚、当日午後一時より行われます大被神事は、どなたでもご参列いただけます。また当日お越しになれない方には、お申し込みのご案内をお送りいたしますのでご連絡下さい。



# 新嘗祭齋行

篤志奉納者表彰式

十一月二十三日新嘗祭が厳肅に斎行されました。

ご神前には、氏子崇敬者よりご奉納頂きました米・野菜・果物・酒・餅等多くの品々が堆く供えられ、秋の豊かな収穫に対し、感謝の誠を捧げ、皇室のご安泰と氏子崇敬者のご繁栄を祈念いたしました。

祭典終了後には、篤志奉

### 篤志奉納者芳名

(敬称略・順不同)

- 水彩画言点 森 治郎
- 浄財 中島 捷介
- 掛軸及び額 小林 亮
- 浄財 佐藤 俊哉
- 浄財 上原 正治
- 財 株豊榮金屬

# 明治祭齋行

十一月三日に明治祭が斎行され、皇室の弥栄と国家国民の繁栄をお祈りいたしました。



この日は、近代日本の輝かしい時代の礎を築かれた明治天皇御聖誕をお祝いし、その聖徳大業を仰ぎ奉る日、今日では文化の日として国民に親しまれております。

## 十一月の祭事報告

# 神宮大麻暦頒布始まる

十一月九日、神奈川県神社庁相模湘南支部の神宮大麻暦頒布始奉告祭が当神社の御本殿にて執行されました。



この神宮大麻暦は奉告祭の後、管内の各神社より氏子崇敬者の皆様方へ頒布されます。神宮大麻を始め氏神様の御神札をお受けになられ、新年をお迎え下さいますようご祈念申し上げます。



- 浄財 花入れ及び花台 遠藤 清
- 浄財 水晶玉言個 株慶塚漆器工房
- 宇井 胡扇
- 荻島三起生

連載

# 遷宮講座



國學院大學  
神道文化学部教授  
神道学博士  
なかよし まさゆき  
中西正幸

## 第八回 相次ぐ仮殿遷宮

第六十二回の式年遷宮に比べて、非常時にのぞんで執行される遷宮、つまり仮殿遷宮は内宮が延暦十年（七九一）八月より昭和十七年五月まで、外宮は長暦四年（一〇四〇）七月より昭和十五年四月まで仮殿遷宮がみられる。しかも中世にかぎれば、内宮三九回に対して外宮五六回であり、頻繁に執行されてきたことは見落としたい。

仮殿とは本殿の修理に際して、神霊をしばし宿らせるべき黒木を用いた御殿であり、園田守良は「いと仮初の御殿」（『神宮典略』七）という。正殿の葺萱・檜皮の朽損や心御柱の傾奇、御装束・神宝の湿損など、遷宮の理由は様々であった。また仮殿を建てることなく東宝殿や御饌殿など、既設の殿舎を緊急に用いる場合もあった。仮殿の造営は大宮司があたり、神霊の奉遷には祭主が奉仕するのを慣例としている。まず禰宜から仮殿造営の注進状が捧げられ、

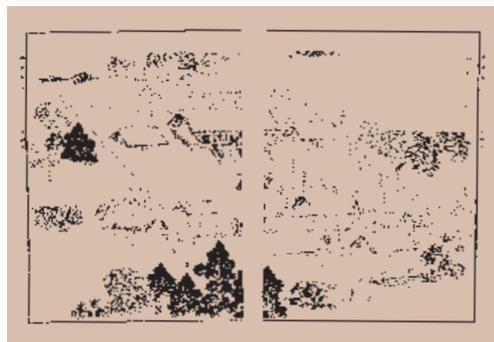
勅裁がくだり日時宣旨がよせられる。鎮地祭・上棟祭・心御柱奉立・御船代祭・御戸祭をへて仮殿が建ち上がる。

仮殿の寸法は「建久九年内宮遷宮記」にみる例をあげたい。それによれば黒木造りの御殿の高さ一丈二尺五寸、長さ二丈六尺、屋根が板葺棟持柱が一丈六尺五寸、御板敷が檜板である。現在の正殿にくらべても、随分と小ぶりな社殿であったことは疑いない。また仮殿を建てず東宝殿を流用する場合には、大床・高欄・御階を併設する慣例であった。

仮殿が竣工すると、御船代の料木伐採から神体を容れる御器の奉作に入るが、仮殿の造営までは前年または当年に済ませ、御飾・遷御という本番に入るのが通例である。遷御には前陣・後陣などを参考にすれば、内宮例では仁治三年（一二四二）が一九五人、建長六年（一二五四）が一五三人、永仁五年（一二九七）が二一〇人、慶長三年（一五九八）が一九九人、外宮例では



『建久九年内宮仮殿遷宮之図』  
荒木田末寿描



『皇大神宮殿舎之図』（『故事類苑』所載）

永正十八年（一五二一）が八一人（但し昇殿供奉は含まず）であつて、これからすれば式年遷宮の陣列とさして遜色はない。仮殿に神霊をお遷しすると、正

殿の御修理を当日もしくは翌日までに完了して、神霊が正殿を必要なく空けるのを嫌い、あくまでも「御一宿」を原則としている。神社の神霊も大祭前夜に御旅所につつり、翌日に氏子区域を廻って、本殿に還られることになっている。これも「御一宿」を尊ぶ神祇の慣例とみなすことができよう。

遷宮制度が次第に機能しなくなると、仮殿遷宮をたび重ねて、現状を糊塗する非常の時代がながく続いた。中世末葉も寛正三年（一四六二）の内宮遷宮以来、百二十四年という気の遠くなるほどの歳月をへて、専ら仮殿遷宮に依存していた非常の時代がわり、天正十三年（一五八五）にふたたび遷宮制度が復興されたのは誠に喜ぶべきことである。

# 第四十二回 菊花・写真展開催

本年四十二回目を迎えました菊花・写真展が、十一月十日より二十三日にかけて開催されました。菊花展の審査長に尾崎元彦氏、また副審査長に遠藤吉和氏、そして写真展の審査長を伊奈喜久雄氏にそれぞれお願いし、厳正なる審査の結果、次の方々が入賞され新嘗祭に併せて表彰式が執り行われました。

## 菊花展入賞者

(敬称略)

- 寒川神社宮司賞 厚物「新太平の銀峰」 佐野 多昭
- 神社本庁統理賞 間管「泉郷富水」 杉崎 松勇
- 厚物の部**
  - 金賞 伊藤 勉
  - 銀賞 中野 信義
  - 銅賞 梶 俊一
  - 寒川町長賞 石田 眞臣
  - 寒川町観光協会賞 清田 美躬
  - 寒川ロータリークラブ 会長賞 石田 眞臣
  - 寒川ライオンズクラブ 会長賞 内藤 俊雄
  - 三昭グループ賞 小峰 勝子
  - さがみ農協寒川地区賞 柳下 愛子
  - 横浜銀行茅ヶ崎支店賞 内藤 俊雄

- ニッポン放送賞 小室 久次
- 入選 水島 進
- 唐沢 茂實
- 亀山 邦男
- 田中嘉代子
- 清田 美躬
- 天利 勇
- 柳澤 芳夫
- 廣木 千年



【菊花展 宮司賞】

- 間管の部**
  - 金賞 田中 博司
  - 銀賞 麻生 喜男
  - 銅賞 平野 正夫

- 三井住友銀行藤沢法人 営業部賞 佐野 晴子
- 湘南信用金庫寒川支店賞 榎田 忍
- 熊澤酒造賞 長澤 弘光
- TBSラジオ賞 松野 寛
- TBSラジオ賞 高橋 一郎
- FM横浜賞 内藤 秀夫
- FM横浜賞 唐沢 茂實
- FM横浜賞 秋山 美好
- ニッポン放送賞 山口 美好
- ニッポン放送賞 原島 博
- 太管の部**
  - 金賞 高橋 一郎
  - 銀賞 市川 秀男
  - 銅賞 藤好 清晴
- 湘南信用金庫寒川支店賞 松野 寛
- 寒川町議会議長賞 井口 忠
- TBSラジオ賞 石川 登
- 入選 岡田 秀磨
- 大出 進

- 厚走の部**
  - 田中 昇
  - 井口 忠
  - 白井 正
  - 長澤 弘光
  - 三橋 太一
  - 田辺 弘之
  - 土方 勝守
  - 中野 信義
- 酒井 茂夫
- 鴨志田 信子
- 麻生 喜男

- 寒川ライオンズクラブ 会長賞 清川 八郎
- 三井住友銀行藤沢法人 営業部賞 阿諏訪 豊
- FM横浜賞 岡田 秀磨
- ニッポン放送賞 杉崎 松勇
- 入選 松野 寛
- 大貫子ヨ子 松野 輝夫
- 大城 征治 荻野 輝夫
- 細管の部**
  - 金賞 杉崎 松勇
  - 銀賞 水島 進
  - 銅賞 天利 勇
  - さがみ農協寒川地区賞 内藤 俊雄
  - 横浜銀行茅ヶ崎支店賞 清田 美躬
  - 熊澤酒造賞 水島 進
  - TBSラジオ賞 阿諏訪 豊
  - FM横浜賞 富永 英雄
  - 入選 荒田 洋司
  - 井口 忠
  - 小室 久次 後藤 勤
  - 富永 英雄



【菊花展 神社本庁統理賞】

- だるまの部**
  - 銀賞 清田 美躬
  - 銅賞 清田 美躬
  - 入選 渡辺 要治
  - 福岡 堅
  - 吉田 茂雄
  - 小室 久次
  - 松野 寛
  - 吉田 茂雄
  - 内藤 俊雄
  - 松野 寛
  - 吉田 茂雄
  - 内藤 俊雄
  - 小峰 勝子
  - 秋山 美好
  - 阿諏訪 豊
  - 柳下 愛子
- 七本立の部**
  - 審査長賞 木村 實
  - 郵便事業株寒川支店賞 関場 清
  - 三昭グループ賞 岡田 秀磨
  - 入選 土方 勝守
  - 伊藤 勉
  - 鴨志田 信子



# 今年の主な出来事

## 宮司更迭

本年二月末日をもちまして多田一馬宮司が退任され、三月一日利根康教禰宜が宮司代務者を拝命いたしました。多田前宮司は、四月二十日に神社本庁より名誉宮司の称号をお受けになりました。

## 相模新能第四十回記念行事開催

相模新能は、畏くも昭和天皇の御聖断をいただき、大東亜戦争の矛を収めた昭和二十年八月十五日に因み、今日の平和に感謝し、祖国日本のために尊い生命を捧げられた護国の英霊、戦争犠牲者の御霊をお慰め申し上げ、真の世界平和、国家の繁栄を祈るべく始められた神事能で昭和四十五年より開催され皆様のご協力により四十回を迎える事ができました。

### 功績者に感謝状贈呈

演能に先立ち記念式典が開催されました。相模新能を長年支えて下さった方々二十七名に、宮司より感謝状と記念品が贈られました。

- |        |      |       |
|--------|------|-------|
| 財鎌倉能舞台 | 野村万作 | 遠藤喜久  |
| 中森貫太   | 野村萬斎 | 鈴木啓吾  |
| 観世喜正   | 石田幸雄 | 佐久間二郎 |
| 五木田三郎  | 高野和憲 | 小島英明  |
| 殿田謙吉   | 深田博治 | 坂真太郎  |
| 一噌隆之   | 足立禮子 | 松井好三  |
| 鶴澤洋太郎  | 弘田裕一 | 本田博保  |
| 國川 純   | 駒瀬直也 | 斉藤比佐晃 |
| 小寺佐七   | 奥川恒治 | 熊谷真太郎 |



## 中森貫太氏と野村萬斎氏による

### 記念座談会

はじめから魅力ある軽妙な会話に観客は大喜びでした。

お二人とも、お父上様と一緒に寒川神社へ来られた時の話になると、表情が輝き生き生きとしておられました。

短い時間でしたが、熱い思いを語りつて頂いたお二人の今後のご活躍をお祈り申し上げます。



## 浪速神楽奉奏

巫女による浪速神楽の奉奏があり、日頃から修練を重ねてきた成果を披露いたしました。



## 四十年のあゆみ展開催

このあゆみ展は特別展として開催され、これまでの公演に使用した衣装・面・扇等が多数展示されました。

その他パネルや映像による紹介もあり、訪れた多くの参拝者は美しい日本の伝統美を心ゆくまで堪能されました。



# 御本殿周辺整備事業

## 「神嶽山神苑」の杜造りが竣工

### 事業の内容と経過

事業の大きな目的は、寒川大明神さまの更なる御神恩に応え、その御神威を一層高めて頂くために、「難波の小池」の湧水を確保し、御本殿の借景に相応しい「神嶽山」の杜造りを行うこととした。最も課題としたのは、寒川神社の起源と深い関わりをもち長年禁足地とされてきた「神嶽山」と「難波の小池」に我々現代人が手を加えてよいものかということでありました。しかしながら神さまの住いを新しくお建て替へし、神さまの御神域を整えることは必ずや御神慮に叶うものと確信し、研究を重ね、史実に基づきながら数々の検証を行い、後世に伝えていくのが我々の責務ではないかと御本殿周辺整備事業委員会を発足。御社殿御造営竣工の十周年を記念し、永年先祖の方々が伝承されてきた神域を整備することとなりました。



神嶽山から御本殿を仰ぐ

設計監理を日本造園設計(株)代表柘野俊明氏(徳雄山建功寺住職)、施工を(株)竹中工務店横浜支店にゆだね事業に着手しました。

#### 第一期工事

平成十七年七月一日、

平成十九年五月三十一日

神嶽山の造成と植栽 難波の小池の改修 外門(兼管理室)・手水舎の建設 御神水取り処・浄め土受所の設置 御本殿を守る防災設備の充実(放水銃/防火水槽設置他)

#### 第二期工事

平成十九年六月七日、

平成二十一年五月三十一日

池泉回遊式庭園の造成 内門・茶室・茶屋の建設 資料館(兼宝物収蔵庫)の建設

### 設計の趣旨

「神嶽山」と「難波の小池」は御本殿の正中軸上であり、神聖度も高く厳格な神域(真)を目指したのに対し、神嶽山を借景とし難波の小池の御神水で満たされた池泉回遊式庭園は神の元に憩い触れ合う神苑(行・草)作りを目指しました。内門はその二つの空間の結界であり神の領域と人の領域の界を表しています。また、庭園内に掛けた橋(土橋と石橋)も結界を表しております。それを渡ることによって厳肅な空間

(行)から神人和楽の安らぎの世界(草)へと続きます。橋の手前は御神水の象徴である八氣の泉や神事を行う石舞台のみであり、茶室・茶屋・資料館などの憩いの空間はいずれも橋の向こう側に配置しております。



御神水で満たされた池泉回遊式庭園

### 工事の主な特色

「神嶽山」は、本殿の高さ約十五メートルに対し、約八メートルの高さまで自然盛土を行い築山されました。山の頂上部の楠等の大木は既存樹木を残し、小池の周辺や正中軸にあたるところは神聖度の高い米梅を中心に植栽されております。

「難波の小池」は、元の位置を変えずに石を積み直し、湧水を確保しました。また、小池から神嶽山の周囲は吉野石が積み重ねられ厳格な雰囲気が出ております。

所々に利用されている石は、四国の

庵治石をはじめ瀬戸内海産の物ですが、出来るだけ昔から境内にあった石を加工して再利用しております。茶室等の木工事や滝の石組み等の造園工事はすべて京都にて仮組みを行い、宮司自ら現地に赴き調整をなしております。植栽についても全国各地から選り出されたものを移植しております。また一つの特色として寒川大明神の御神徳である八方除に因み、八角形の造作物が目立ちます。

一流の職人達が叡智を結集し、寒川大明神の御神徳発揚の為に誠心誠意作り上げた神苑です。今まで禁足地であった尊い御神域に一歩足を踏み入れれば、そこは精気に満ち溢れ、神聖な「難波の小池」また「神嶽山」の杜を拝することにより大明神の御神威に触れることが出来るでしょう。そして四季の移ろいを感じながら清らかな流れに心を洗われ、神人和楽の一時をお過ごし頂くことで更なる深い信仰心を育んで頂ければ幸いです。



難波の小池

418

健康手帳

## 癌の痛みの治療

宗教法人 寒川神社 寒川病院

外科医師 森田 真理

癌に罹患されると、癌の進行に伴い、約7割の方が癌に伴う痛みを経験されると言われています。痛みの程度や状況は人により様々ですが、癌の進行に伴い痛みが出現し、次第に増強していくことが多く、この絶え間なく続く痛みが、不眠、疲労、不安、恐怖、怒り、悲しみ、うつ状態、孤独感を招くようになり、その人の生活の質を著しく損なってしまいます。

かつて我々は、我慢と謙遜を美德としてきました。けれど、癌の引き起こす痛みは、我慢しても決して軽快することは無く、執拗で進行性であり、癌の疼痛による苦しみを我慢することはご本人にとって何の意味もありません。

WHO (世界保健機構)

も、癌の痛みは積極的に治療することを推進しております。

癌の痛みの治療には一般的な解熱鎮痛剤の他に、リン酸コデインなど弱オピオイドと呼ばれるお薬や、モルヒネ、合成麻薬のフェンタニルなどが用いられます。癌の痛みに対してモルヒネをはじめとする麻薬系鎮痛剤を開始される場合に、麻薬を使用することを説明させていただくと、麻薬中毒や廃人になるのではないかと、死期を早めるのではないかとという不安を口にされる方も少なくはありません。

痛みや苦痛から解放された生活を送ることができるようになります。もちろん癌の疼痛緩和目的で使用される麻薬が原因で死期が早まるということもありません。癌の痛みから解放されることで夜ぐっすり睡眠できるようになり、食欲や元気さを回復することができるようになります。何よりも生きる意欲が回復します。

癌の痛みを使用する麻薬は、飲み薬の他に、貼付剤、座薬、注射薬などがあります。どのお薬を使用するかは、その時のお体の状況で決めていきます。また、病状の変化によっても使用してお薬の使い方や量を調節して、痛みや苦痛を感じなくする工夫を行います。痛みの治療に使用するのはいわゆる痛み止めとして使われるお薬だけでなく、ステロイド、局所麻酔薬、けいれんや不整脈の治療に用いられるお薬なども有効なことがあります。麻薬と併用して疼痛緩和治療に用いられることもあります。

## 人事

### ◆退職

△寒川神社▽

主事 原 光雄

願いに依り職を免ずる

平成二十一年十一月三十日

### ◆新採用

△神恵苑▽

介護職

神恵苑勤務を命ずる

平成二十一年十二月一日

亀田 ゆか

## 医療講演会のご案内

と き 12月16日(水)  
午後2時～3時

ところ 寒川神社 参集殿

内容 「ワクチンについて」

講師 薬剤師 福富 大樹

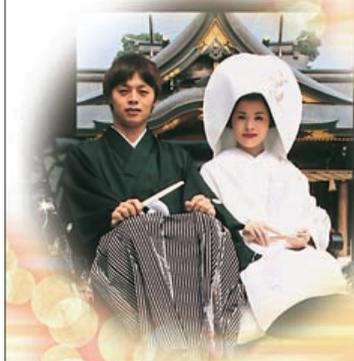
入場無料 申込不要  
ご来場をお待ちしております。

0467-75-6680  
寒川病院

12月20日(日)

午前10時より午後5時迄

## 神前結婚式ご案内会



寒川神社参集殿

お問い合わせは

0467-75-5555





### 十二月 手水舎奉掲

昭憲皇太后御歌

かへりみて心にとはば見ゆべきを

ただしき道になにまよふらむ

狛犬の化粧直すや神の留守  
 とつぷりと暮れてあかるき酉の市  
 立冬の野を高鳴きぬ朝鴨  
 雑兵は彩り乏し菊人形  
 時々は裾ずり上げて七五三  
 母に勝ち父に負けたる木の実独楽  
 素手で掻く墓の落葉や子の忌日  
 霜強し会釈に言葉一つ足す  
 境内にちり一つ無し神の留守  
 百度石石に声あり残る虫  
 巢ごもりの早まる気配冬に入る  
 托鉢に小銭ちやりんと初時雨  
 小夜時雨只泣くばかり貰い犬  
 立冬の細りし川の浮環鳥  
 月寒し不況列島照らしけり  
 空澄みて水澄みて今日文化の日  
 鬼柚子のぶつきらぼうを諸手受く  
 一輪を咲かせて紅し冬薔薇  
 蕎麦干すや民家少なき奥武蔵  
 街路樹のイルミネーション冬立つ日  
 ひらくこと固くこばみて冬薔薇  
 何故何故と自問自答や柚子匂ふ

根岸 君子  
 相原 白蕨  
 露木てる子  
 松本美智子  
 飛石 樺花  
 岡田風呂釜  
 金指 月光  
 金子 つぢ  
 芹沢 徳光  
 多田 武峰  
 原野 楽天  
 天沼 子平  
 高橋はるよし  
 千葉 静香  
 菅沼 保幸  
 四ツ車梢月  
 菅沼つめの  
 伊藤 公一  
 宮入 つる  
 竹村真砂美  
 山本 朝子  
 倉谷 節子



### 表紙写真説明



アメリカのギャンブル経済破綻せりわが旋盤に仕事の絶える  
 霜避けに越冬させし浜木綿のゆつたり妖しき白花におう  
 清きみず富士の裾野に湧き出て神秘の輝き忍野八海  
 終戦日辛く悲しい日々の記事読みて平和の尊さを知る  
 潮鳴りにバイクの騒音入りまじり急わしく響く夕暮るる街  
 慶応大学の道の両の辺埋めつくす南京八ゼの紅葉の盛り  
 吊り橋の揺れる道志の川畔に緑濃き丹沢を描く  
 お御輿に粹な姿の母と子がかけ声あわせはじける笑顔  
 漸よくに肺癌手術後の五年過ぐ八十五歳の日々を生きおり  
 鉄塔の明かりは如何につり橋の海から黒雲狂う雨音  
 風をみせ庭にひといき風知草しなやかにゆれ涼しささそう  
 ふつくらと稲穂ふくらむ稲田には鳥よけのあみ黄に張られ行く  
 誕生日祝いくれたる子や孫の「日々生き生きと元気でいてね」  
 捨てられずたまはかりのがらくたを見るのみにたた手をやきてあり  
 「流行」のニース見て急ぎ店頭に張り紙のありマスク売切れ  
 朝はまつお日さまに手を合はすとふ友につなつき我も拝む

斎藤くにお  
 宇田川時子  
 浜田 寿子  
 山口 幸子  
 山根喜美代  
 安藤 慧  
 鈴木 助晴  
 川島恵美子  
 吉田マツ子  
 工藤 光子  
 稲畠 治江  
 天利 春枝  
 岡元 芳子  
 出町 安子  
 亀山 文字  
 講師 杉本 照世



### 平成22庚寅年 厄年一覧表

性別	年齢 (かぞえ年)	前厄	本厄	後厄	性別	年齢 (かぞえ年)	前厄	本厄	後厄
男	25歳	昭和62年生	昭和61年生	昭和60年生	女	19歳	平成5年生	平成4年生	平成3年生
	42歳	昭和45年生	昭和44年生	昭和43年生		33歳	昭和54年生	昭和53年生	昭和52年生
	61歳	昭和26年生	昭和25年生	昭和24年生		37歳	昭和50年生	昭和49年生	昭和48年生

読者の皆様方には謹んで一  
 年間の御礼を申し上げます。  
 どうか良い年をお迎えなら  
 れますようお願いいたします。

# 迎春干支ねぶた完成

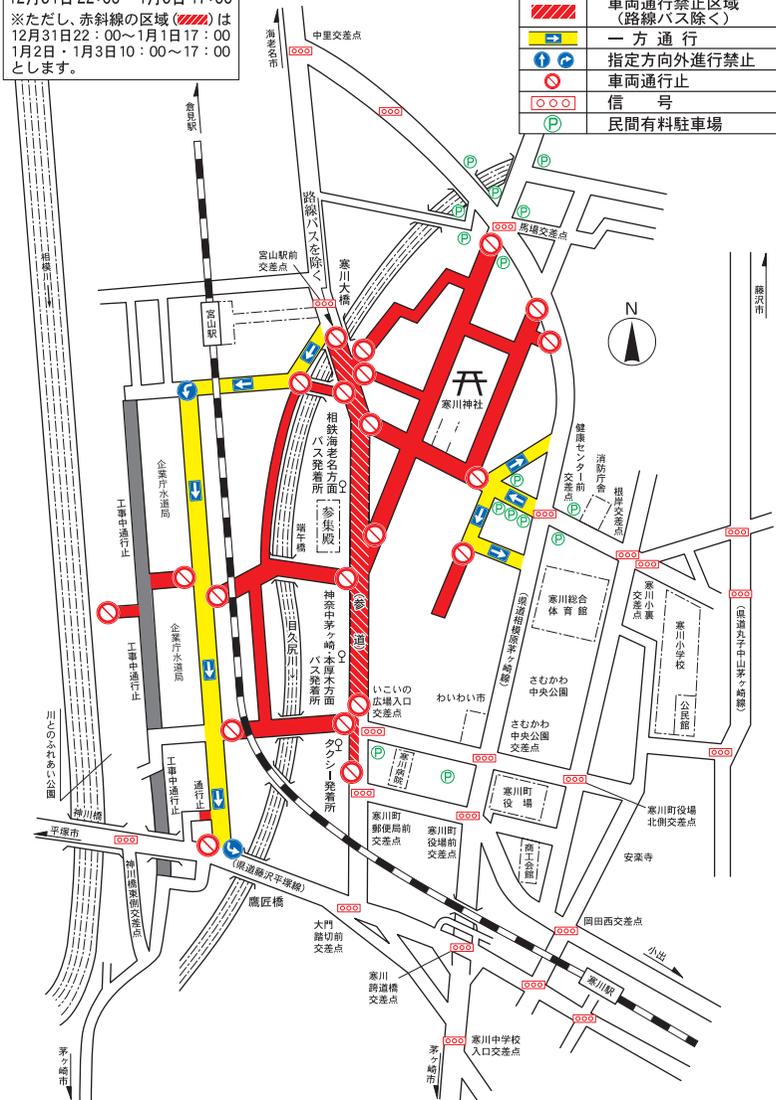


新年が良い年でありますように、との願いを込めて製作が進められておりました「迎春干支ねぶた」が完成いたしました。12月20日神門に掲げられ元旦午前零時に点灯、初詣にご参拝の皆様をお迎えいたします。

● 初詣には、バス・電車をご利用下さい。(最寄駅 JR相模線宮山駅)  
 ● 混雑しますので「マイカー」での乗り入れはご遠慮下さい。

**規制時間**  
 12月31日 22:00～1月3日 17:00  
 ※ただし、赤斜線の区域(斜線)は  
 12月31日 22:00～1月1日 17:00  
 1月2日・1月3日 10:00～17:00  
 とします。

凡 例	
	車両通行止区域
	車両通行禁止区域 (路線バス除く)
	一方通行
	指定方向外進行禁止
	車両通行止
	信号
	民間有料駐車場



## 平成22年 寒川神社初詣交通規制図